

る点、陽性であった場合の対応が迅速かつ確実に行える点において、民間クリニックが HIV 検査相談の分野で果たせる役割は少なくないと考える。

a-3. 相談体制の整備-HIV 検査で陽性が判明した患者への受診支援の整備等-

首都圏を中心にエイズ電話相談を実施している機関、特に MSM を対象とした相談が可能な機関を調査し、承諾を得て、HIV マップ、啓発資料等への掲載等を通じて広報した。

a-4. 評価調査体制の整備と調査実施：

1. 首都圏の保健所・公的機関・医療施設における HIV 検査受検者の動向と受検者数把握に関する質問紙調査

2007 年度には「受検者数把握に関する調査」「受検者の動向に関する質問紙調査」について、東京都、神奈川県、横浜市の自治体に対してエイズ予防戦略研究の趣旨を説明し、保健所等の HIV 検査機関における調査協力を依頼した。また、東京都内の STD クリニック等における同調査への協力依頼を行った。2008 年度には更に千葉県にも協力を依頼した。2009 年度は、北区保健所と台東保健所の 2 保健所が新たに加わり、主要評価調査に協力している保健所等は 80 施設（含む MSM 定点保健所等 39 会場）で、クリニック等の医療機関は 9 施設である。

2. RDS (Respondent Driven Sampling) 法を用いた携帯電話と情報端末による首都圏の男性同性愛者 (MSM) を対象とした質問紙調査

首都圏の MSM を対象とする本調査はゲイバー等の商業施設、サークル系の代表者、NGO との協力により実施した。2008 年度、2009 年度の調査の集計結果を添付資料 I に示した。

「HIV/エイズをめぐる、ちょっと面倒な、だけど大切な調査キャンペーンが始まります。MEN-DO キャンペーン『携帯電話アンケート』

が始まります。」として 7 月から 9 月末までの間に RDS 調査が実施された。文化系サークルイベント (126 名参加者全員)、体育会サークルイベント (126 名参加者) に参加協力依頼し、2 ヶ月間に計 252 件回収した。また、Living Together 計画として陽性者との共生を図るメッセージを広げるイベントや広報を新宿 2 丁目で行ってきた。このイベントの参加者、関係者に RDS 調査の協力を依頼し、1 ヶ月で約 211 件の回答を得た。これらサークルや LT 計画での RDS 調査の回答について、2008 年度の経年的な推移を含め、層別分析を進めている。

RDS 調査の特徴である紹介層別 (調査起点を 1 層、それ以降を 2、3、4 層とする) に分析したところ、第 1 層の受検率が高く、層が遠くなるにつれて低くなっていくことが示された。最終年度においても、HIV 検査受検の促進を目標に広報戦略を展開、介入を継続実施する。RDS 調査を最終年度においても実施し、HIV 検査受検が向上するか、戦略研究により開発・普及させた資料の入手や認知と検査行動の関連、層別の受検経験が 2 層、3 層以降においても向上するかを介入の効果指標の一つとして位置付け、データを収集していく。

HIV 検査の受検経験や性行動にはサークル系、LT 計画において違いが見られる。啓発資料に関して、2009 年度は 2008 年度より認知が上がっていた。

HIV 検査の受検経験は、全体で生涯では 72.6% (2008 年度調査 72.6%)、過去 1 年間では 30.9% (2008 年度調査 32.7%) であった。各基点別には、生涯では 66.7% - 78.2% (2008 年度調査 54.2% - 75.4%) で各サークル系と LT ラウンジ系でやや異なっていた。過去 1 年間の受検経験率も体育会サークルが 27.0% (2008 年度調査 33.9%)、文化系サークルが 30.2% (2008 年度調査 28.8%)、LT 計画が 33.6% (2008 年度調査 33.5%) でやや異なっていた。

3. 首都圏の男性同性愛者 (MSM) 向け商業施設や、商業誌やインターネットサイトの利用者、イベント参加者を対象とした質問紙調査

首都圏の MSM 向け商業施設利用者を対象とした質問紙調査を平成 20 年 1 月 31 (土)～2 月 27 日 (金) の間、MEN-D0 キャンペーン 04「バー・アンケート」として、新宿、新橋、上野、浅草、野毛のゲイバーで実施した (有効回収数 n=1,463)。2009 年度は新宿地域、新宿以外の新橋・上野・浅草・野毛地域で分類し、それぞれ 20 歳-29 歳、30 歳-39 歳、40 歳-49 歳、50 歳-69 歳の年齢層別に、MSM における検査行動、性行動とコンドーム使用状況などについて分析を進めた。集計結果は添付資料 II に示したとおりである。

生涯での HIV 抗体検査受検割合は、新宿地域全体で 65.6%と高い割合であり、各年齢層別には 20-29 歳が 60.3%、30-39 歳が 69.3%、40-49 歳が 68.3%、50-69 歳が 56.9%であった。新橋・上野浅草・野毛地域全体では 50.5%であり、各年齢層別には 20-29 歳が 42.6%、30-39 歳が 59.6%、40-49 歳が 53.1%、50-69 歳が 38.7%であった。20 歳代、50 歳以上の年齢層は他の年齢層にくらべて低い割合であった。

過去 1 年間の HIV 抗体検査受検割合は、新宿地域全体で 35.1%であり、新橋・上野浅草・野毛地域では 22.1%であった。40 歳以上の年齢層で他の年齢層にくらべて低くなる傾向であった。

一番最近に受検した検査場所 (単数回答) は各地域の保健所が多く、次いで首都圏の病院・が多かった。また生涯受検経験がない回答者の「これまでに HIV 抗体検査を受けなかった理由」について、20 - 29 歳層ではどちらの地域においても、「機会がなかった」からと回答する人が高い割合であった。

30 - 49 歳層では新宿地域では「機会がなかった」に次いで「HIV に感染している可能性がない」や「結果を知るのが怖い」からと回答する人が高く、新橋・上野浅草・野毛地域では「HIV に感染している可能性がない」に次いで「機会がなかった」や「結果を知るのが怖い」からと回答する人が高い割合であった。

50 歳以上ではどちらの地域においても、「HIV に感染している可能性がない」からと回答する人が高い割合であった。

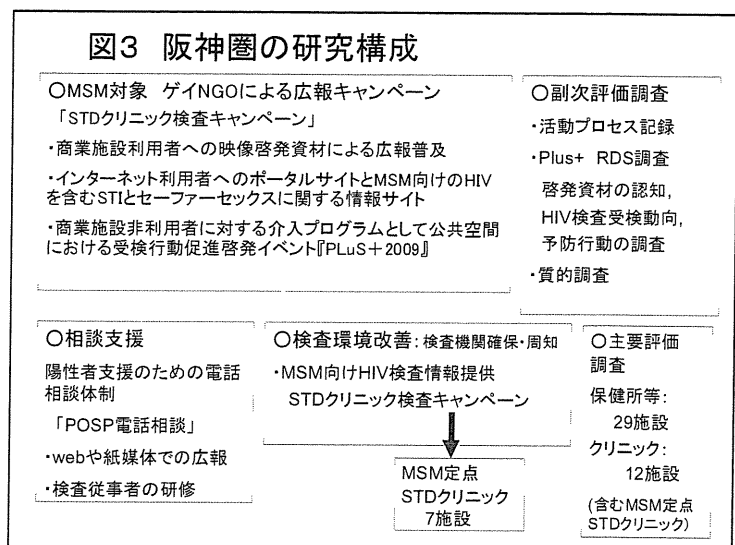
4. 首都圏におけるゲイおよびバイセクシュアル男性の情報ネットワークと HIV 受検行動の実態、および、受検に伴う行動変容に関する質的調査

本調査では、首都圏に在住する 40 代以上の MSM に対して訴求性のある啓発資材の開発に有用な因子を明らかにし、これらの年齢層への介入プログラムの資料とするものである。平成 20 年度に続き、上野・浅草、新橋の商業施設に訪問し、その利用者を対象にした啓発のニーズを探った。

b. 阪神圏地域の MSM を対象にした研究

昨年度までに構築した STD クリニック等での MSM 対象の検査キャンペーンを 5 月から 12 月末まで実施し、Web を介した啓発広報、商業

図3 阪神圏の研究構成



施設を介した啓発広報、公共空間における受検行動促進啓発イベント『PLuS+2009』での啓発広報により、STD クリニック 7 機関での受検促進を図った。また、検査機関における MSM の受検者数把握のための調査についての協力機関との調整、コミュニティ内での本研究広報資材の認知を評価する調査の実施を進めた。阪神圏での研究体制を図 3 に、2009 年度までに実施してきた研究内容の概要を表 3、表 4 に、2010 年度の研究活動を時系列で図 5 に示した。

b-1. HIV 検査受検行動を促進するための啓発資材・プログラムの開発と普及 MSM 対象の啓発普及・広報：

HIV 検査受検行動を促進するための啓発資材・プログラムの開発と普及について、本年度実施した内容を以下に示す。

1. 商業施設利用者に対する介入プログラム

商業施設利用者に対する介入プログラムとしてクラブ利用者へ、クリニック検査キャンペーンの広報とセーフターセックスを意図したオリジナルグッズをパッケージにした啓発資材の開発と普及を実施した。商業施設利用者に向けたポスターを利用した啓発普及を実施した。

1) クラブパーティ会場における受検行動促進啓発（ナイトプロジェクト）

ナイトプロジェクトでは既存のクラブイベントとの連携により、エイズ予防戦略研究のロゴ等の周知を図る事業を実施している。本年度は、計 16 回のナイトプロジェクトを実施し、コンドーム、検査情報が掲載されたポストカード等予防啓発資材（4500 セット）を配布した。

2) ハッテン場における受検行動促進啓発プログラム

ハッテン場利用者に対して HIV/STI の知識・意識・態度の向上を図るための情報資材の

開発と配布を行った。本年度は、京阪神地域の、33 店舗のハッテン場とのネットワークを構築し、ポスターやコンドームとクリニック検査キャンペーンの広報をパッケージにした啓発資材を 6 月～9 月の間に 57,900 セット配布した。

2. インターネット利用者に対する介入プログラム（Web プロジェクト）

インターネット利用者に対する介入プログラムとして阪神圏のゲイ・バイセクシュアル男性に向けたポータルサイトと MSM 向けの HIV を含む STI とセーフターセックスに関する情報のインターネットサイトを展開した。

エイズ予防戦略研究を促進する目的で、PC および携帯電話双方に対応した大型 Web サイトを運営した。本年度は「MASH web 大阪」「dista. b」「SSI（セーフターセックスインフォ）」「PLuS+2009」の公開、コンテンツの継続的な整備、広報を行った。「dista. b」では様々な京阪神地域のゲイ向けの施設、HIV エイズの相談窓口、サークル等 HIV/AIDS 関連団体の情報を集約して掲載した。毎月平均 4000 件のページ閲覧数を得た。

「dista. b」は携帯電話での対応も可能にし、内容を充実させた。その結果、同ホームページのアクセス数は約 5000～約 7000（パソコンと携帯電話の総計）のアクセス数を継続的に得た。

「dista. b」のホームページをから戦略研究で実施されている検査促進に関するキャンペーンへのアクセスや「Safer Sex Info.」などの情報資源のページへのアクセスが得られていることも明らかとなりつつあるが、詳細については分析中である。

3. 商業施設非利用者に対する介入プログラム

1) 一般街頭における受検行動促進啓発プログラム

このプログラムは、ゲイ向け商業施設利用者のみならず、非利用者に対しても予防情報を提

供することを目的に実施している。

2) 公共空間における受検行動促進啓発プログラム (PLuS+2009)

PLUS+2009 (平成 21 年 10 月 11 日) では、ステージ、スライドショー、展覧会、ブース展示、陽性者交流会など総合的なプログラムが企画され、ステージプログラムの中では検査場の情報や予防啓発情報の広報が行われた。協賛参加団体は、FOLLOW (陽性者 NGO)、NPO・CHARM、chotCAST なんばなどの 13 団体の NGO に加え、ゲイ商業施設、ゲイ雑誌、コンドームメーカーなど 22 団体が参画した。

PLuS+2009 会場の周辺 5 箇所で、流入人口を計数した結果、来場者数は延べ 11,677 人であり、来場者実数 5,406 人 (うちゲイ・バイセクシュアル男性約 3,500 人) を集めた。

b-2. 検査体制の整備と拡大：

昨年度に続き、大阪府、大阪市の自治体エイズ担当者にエイズ予防戦略研究への協力を依頼し、また大阪土曜日常設検査を実施している NPO・CHARM に対しても同様の依頼を行った。しかし、現状の検査体制を変更することは容易ではなく、また大阪土曜日常設検査においては現行体制で受検者を増大させることは困難であった。2009 年度には、大阪地域における土曜常設検査も 9 月に中止となった。

研究班員・川畑拓也 (大阪府立公衆衛生研究所) が中心となって STD クリニック等における検査機会拡大のための体制構築を進め、2007 年度は 3 クリニックと連携し、2008 年度は 7 クリニックに増やすことができた。協力医療機関は大里クリニック、そねぎき古林診療所 (旧 大国診療所)、岩佐クリニック、高田泌尿器科、亀岡クリニック、田端皮膚泌尿器科、菅野クリニックである。

クリニックベースの検査キャンペーンを 2009 年度はキャンペーンをさらに強化し、5

月から 12 月までを受検できる期間として、検査機会の拡大を図った。本年度キャンペーンにおける参加者数は 272 名で、前年までの試行では約 10 件/月であった検査件数が、本年度は 34 件/月となった。また HIV 陽性率は、20 歳代 5.0%、30 歳代 4.5%、40 歳代 5.8%、全体では 4.4%であった。

なお、キャンペーン実施前より、一般診療所において針刺し事故等 HIV 暴露事故への対策が不十分であることが判明し、大阪市、大阪府への対策の要請を実施した。キャンペーン期間においては事故対策マニュアルを整備した。

b-3. 相談体制の整備

-HIV 検査で陽性が判明した患者への受診支援の整備等-

阪神圏では MSM を対象にしたエイズ電話相談機関が限られており、特に陽性告知後の陽性者に対応した電話相談体制が脆弱な環境にある。このことから本研究では東京で実績のある NPO・ぶれいす東京に電話相談体制構築について委託し、岳中美江 (財団法人エイズ予防財団/NPO・CHARM) を中心とした陽性者支援のため体制「陽性者サポートプロジェクト関西」を構築した。平成 19 年 10 月から週 1 回の電話相談を実施している。

平成 21 年度は、相談件数 2010 年 3 月時点で 34 件であった。今年度 10 月より、電話相談の対象を見直し、HIV 陽性とわかって間もない人から HIV 陽性とわかった人全般を対象にすることにした。2007 年 10 月～2009 年 3 月の相談件数は 80 件 (2009 年 10 月まで 67 件、2009 年 11 月から 2010 年 3 月まで 13 件) であった。

対象の見直しに伴って、web サイトの再構築を進めており、広報の不十分さが課題となった。また、平成 20 年度から開始した相談員の育成を継続し、今年度は 2 名の新たな相談員が育成された。

地域の陽性者の支援者ネットワーク構築を

目的にカンファレンスを実施した。保健所、医療機関、NPO等から、8月は31名、11月は10名の参加があった。なお、5月に予定されていたカンファレンスはインフルエンザのために中止とした。また、大阪市保健師研修や保健師自主学習会への協力も行った。

また新規陽性者グループプログラムを開始した。このプログラムは、陽性とわかって間もない時期によりよいスタートを切るための支援を目的としており、2人のスタッフが進行を手伝いながら実施する全3回の少人数制グループミーティングである。第1期は8月30日から9月27日に実施し参加者6名、第2期は1月24日から2月21日に実施し参加者5名であり、全員が全3回参加した。每期終了後にスタッフ振り返り会を開催し、スタッフ育成にも努めている。

b-4. 評価調査体制の整備と調査実施：

1. 阪神圏の保健所・公的機関・医療施設におけるHIV検査受検者の動向と受検者数把握に関する質問紙調査

大阪府では課題2の研究が平行して進められてきたため、「受検者数把握に関する調査」「受検者の動向に関する質問紙調査」の実施にあたっては、課題1と課題2が関連した依頼となっていた。また課題1の本研究では、評価調査に加え、検査機会拡大や相談体制との連携構築について、大阪府、大阪市の一部の保健所、HIV検査機関、STDクリニック等に協力を依頼することを計画していた。これらの協力依頼による混乱を避けるため、大阪府、大阪市およびSTDクリニック等の機関には評価調査に係る協力依頼を先行することとした。大阪府、大阪市の自治体に対してエイズ予防戦略研究の趣旨を説明し、保健所等のHIV検査機関において、「HIV検査受検者数の動向調査」、「エイズ抗体検査受検者へのアンケート調査」の協力依頼を行った。なお、課題2では大阪府内のSTDクリ

ニックにおいて同調査への協力依頼を行っている。

2009年度に課題2が中止となったため、「受検者数把握に関する調査」「受検者の動向に関する質問紙調査」の実施機関を調整することが必要となり、本年度は保健所等29施設、クリニック等12施設(含むMSM定点STDクリニック7施設)で実施することとなった。

2. RDS (Respondent Driven Sampling) 法を用いた携帯電話と情報端末による阪神圏の男性同性愛者 (MSM) を対象とした質問紙調査

阪神圏のMSMを対象とする本調査は、MASH大阪が実施した総合啓発イベントPLUS+の会場で、2007年から開始した。過去3回の調査の集計結果を添付資料Ⅲに示した。

平成21年度は調査参加者を増加させるための工夫を加え、PLuS+来場者を基点とした集団から540件の回答を収集した。また兵庫県、京都府等のゲイバーでもRDS調査を実施し、計623の有効回答を得た。

戦略研究において実施しているクリニック検査キャンペーンの認知においては昨年と比較して上昇の傾向が見られた。

またHIV検査受検経験については、生涯では68.2% (2007年調査56.7%、2008年度調査65.0%)、このうち過去1年間で受けたものは37.6% (2007年調査31.5%、2008年度調査38.7%)であった。なお、PLuS+参加者を基点とした集団では、生涯でHIV検査を受けていた者は48.2% (2007年調査56.7%、2008年度調査65.0%)であり増加傾向が示された。

3. 阪神圏の男性同性愛者 (MSM) 向け商業施設や、商業誌やインターネットサイトの利用者、イベント参加者を対象とした質問紙調査

PLuS+会場への流入者数を把握することを目的とした調査「ちえっくん」を実施している。2008年度および2009年度の調査の集計結果を

添付資料Ⅳ-①、②に示した。

PLuS+会場の来場者の流入回数、性的指向、阪神圏に居住する MSM の商業施設利用についてなど、2008 年度同様の方法で PLuS+2009 会場参加者を対象に実施した。総計 917 名から有効回答を得た。同時に実施した会場への流入人口調査から、来場延べ数は 11,677 人であり「ちえっくん」の回答から平均 2.16 回のリピート参加があることから実参加者数は 5,406 人と推定された。来場者の年齢は 20 代・30 代が多く、平均年齢は 33.1 歳であった。全来場者の 64.0% (推定数 3,459 人) が自らのセクシュアリティを「ゲイ」または「バイセクシュアル」と自認している男性であった。また、「ゲイ・バイセクシュアル男性」の 45.3% (推定 1,566 人) が、今回始めて PLuS+に来場した人 (初回来場者) であった。2008 年の PLuS+においても「ゲイ・バイセクシュアル男性」のなかで、初回来場者は 49.5% であり 2 年継続して初来場者が半数を占める結果となった。2008 年度、2009 年度ともに複数来場者の生涯 HIV 抗体検査受検経験 (2008 年 71.9%、2009 年 70.9%) は初回来場者 (2008 年 47.5%、2009 年 57.5%) に比べて高い割合であり、大型啓発イベント『PLuS+』の効果が示唆された。

4. 中高年層 MSM 向け、HIV 感染予防啓発資料の開発に関する形成的研究

本調査では、阪神圏に在住する 40 代以上の MSM に対して訴求性のある啓発資料の開発に有用な因子を明らかにすることを目的としている。総計 20 名からのデータを収集し、40 歳代以上の MSM のニーズを抽出した。現在分析を進めている。

D. 2009 年度研究の進捗状況のまとめ

2007 年度から 2009 年度までの研究の進捗状況の概要を表 1~4 に示した。研究計画に示した「MSM 対象の啓発普及・広報」「MSM 対象の検

査体制の整備」「相談 (陽性者等の支援)」および「効果評価のための調査・研究」の各項目について、2 年をかけてほぼ体制を整備し、2009 年度は、それぞれが連動することを試行した。

広報により検査を希望するものが増加した場合、その受入となる検査機関が確保され、かつ受検者への対応、とくにゲイ・バイセクシュアル男性の受検者にはセクシュアリティへの理解に基づく対応が必要である。受検時の対応によってはその後の検査行動にも影響し、それが口コミによって受検行動の広がりにも影響することも考えられる。首都圏では保健所等の検査担当者を対象とした研修会 (セクシュアリティ理解、MSM 対応のロールプレイ、MSM 対象の検査広報の工夫など) を自治体や保健所の担当者と協議しつつ実施することができた。また阪神圏では告知後間もない陽性者のための電話相談「陽性者サポートライン関西」の相談事例に基づくカンファレンスを地域の保健師等を交えて開催し、MSM を含めた検査時の陽性者への対応を共有するなどを進めてきた。しかし、本年度は、保健所において新型インフルエンザの流行への対応が喫緊のものとなったことから、保健所等との研修会は中止となるなどの影響があった。

首都圏では 2008 年度には上記の研修会などを通じて関係が得られた検査機関を Web や紙媒体の資料を通じて広報する「あんしん HIV 検査サーチ」を開始した。HIV マップによって適切に社会資源にアクセスできる体制を準備し、「あんしん HIV 検査サーチ」の広報により検査の必要な人が受検できる体制を連携するシステムを 2009 年度から本格的に試行する予定であったが、5 月からの新型インフルエンザの流行への対応が保健所に生じたために、Web の「あんしん HIV 検査サーチ」では検査機関情報を掲載する一方で、受検に際してはあらかじめ検査を実施しているかを確認することの呼びかけを行うこととなった。12 月のエイズデ

一には、16 の保健所等の検査機関で実施される臨時 HIV 検査を広報することができたが、MSM の受検者数が増加する機会とするには、検査機関情報の広報をより広める企画が必要と思われた。2010 年度は最終年度にあたるため、6 月から長期にわたり受検行動を促進するプログラムを企画する必要がある。そのためには、ゲイ NGO と自治体、保健所との情報交換を早めに行うことが必要と思われる。

阪神圏では、クリニック検査に力点を置き、本戦略研究に協力するクリニックを 3 医療機関から 7 医療機関に増やすことができた。2008 年度までのクリニック検査キャンペーンでは検査件数は少ないが、HIV 陽性率が高く、その意義が認められた。このことから、2009 年度は 5 月から 12 月末までに期間を延ばし、広報による周知を促進し、HIV 陽性者のための電話相談体制とも連動した啓発普及を行った。新型インフルエンザの流行により、阪神圏の保健所では HIV 検査件数が減少したが、このクリニック検査キャンペーンでは、5 月から 9 月にかけて検査件数が徐々に増加し、12 月まで増加が続いた。

エイズ予防のための戦略研究で与えられた目標は、HIV 検査件数の倍加とエイズ発症での報告数を減少することである。MSM を対象とした本研究課題では、2009 年度までに、MSM を対象とした広報のためのネットワーク構築、検査機会を確保するための検査機関、医療機関との関係構築、そして HIV 感染や HIV 検査に伴う不安や悩みへの支援体制の構築を進めてきた。HIV 陽性者への社会資源の活用ができるように企画された首都圏での「HIV マップ」は、情報を追加するなどの検討を加えることで、全国の MSM が活用できるものとなる。また、MSM 以外の層にも有用なプログラムである。阪神圏では HIV 陽性者のための電話相談が定着し、相談員を養成して増員することで、より多くの HIV 陽性者に対応できるようになる。また、電話相

談から HIV 陽性とわかって間もない人のためのグループミーティングも実施されるようになり、検査で HIV が陽性とわかった後の支援体制も構築された。

MSM の場合、HIV 検査を倍化することによって、自身の HIV 感染を知る者も多いことが想定される。HIV 陽性者が自身の感染を知り、その後の生活を考えるときの支援体制は、検査を行ううえで重要な対策のひとつと考える。

E. 健康危険情報： なし

F. 研究発表

- 1) 新ヶ江章友、金子典代、内海眞、市川誠一：HIV 抗体検査会に参加した東海在住 MSM (Men who have Sex with Men) の性自認と HIV 感染リスク行動、日本エイズ学会誌、2009、11 巻 3 号、255 - 262.
- 2) 市川誠一：HIV 陽性者と一緒に生きていく社会の形成をめざして、感染症対策の視点から、保健師ジャーナル、2009、65 巻 11 号、898-904
- 3) 市川誠一：HIV 感染の疫学と対策—MSM における HIV 感染とその対策、BIO Clinica、2009、24 巻 7 号、594-599
- 4) 市川誠一：男性同性間の HIV 感染対策とその介入効果について、病原微生物検出情報、2008、29 巻 6 号、147-148
- 5) Seiichi Ichikawa, Yukio Cho, Mio Sato: The Activities and Role of the Gay Community Center 'akta' in HIV Prevention within the gay Community in Tokyo, Challenging Practices on HIV/AIDS in Japan, Japanese Foundation for AIDS Prevention, 2008, 52-57
- 6) 市川誠一：男性同性間の HIV 感染対策—生育過程におけるとり組みの必要性—、セクシュアリティ、2008、34 号、58-61

G. 知的財産権の出願・登録： なし

表1 エイズ予防戦略研究課題1・首都圏地域における2007-2008年の進捗状況

| | MSM 対象の啓発普及・広報 | MSM 対象の検査体制の整備 | 相談（陽性者等の支援） | 効果評価のための調査・研究 |
|--------|--|--|--|---|
| 2007年度 | <ul style="list-style-type: none"> 啓発資材の開発と啓発キャンペーン実施、商業施設での資材配布（累計12000部） 予防・検査・相談・治療の情報を包括的にまとめたインターネットサイト（HIVマップ）の開発と公開、宣伝 中高年MSMが利用するゲイタウン関係者との関係構築 スポーツ・文科サークル、メディア関係構築 | <ul style="list-style-type: none"> MSM受検者への相談・対応研修会の実施 MSM向け検査実施機関のリストアップとネットワーク構築、協力の依頼 自治体の検査イベントへの広報等での協力 | <ul style="list-style-type: none"> MSM向け相談窓口を開設している機関のリストアップ MSM向け相談が対応可能なNGO等との連携構築 HIVマップに掲載 | <ul style="list-style-type: none"> ○主要効果評価のための検査件数、受検者アンケートの実施協力依頼 ○副次的効果評価のための調査 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット調査 ・RDS調査実施に向けた調整 |
| 2008年度 | <ul style="list-style-type: none"> 携帯版「HIVマップ」サイトの開発、インターネットサイト「HIVマップ」の宣伝、コンテンツの充実、キャンペーンと連動しサイト訪問者を増やす 中高年MSMの利用するゲイタウン内商業施設での啓発の開始 スポーツ系、文科系サークルでの啓発を実施 多様なMSMを対象にした啓発としてクラブイベントパーティの主催者等と連携を図る（11月-1月末までに複数のクラブイベントと協働キャンペーン実施） 上野・浅草の地域でのタウンミーティング 若年のMSM層を含む大学生を対象にした啓発資材配布（八王子市保健所） | <ul style="list-style-type: none"> MSM受検者への相談・対応研修会、講習会の実施（東京都、神奈川、千葉で実施） 自治体の臨時HIV抗体検査イベントの広報協力（神奈川、横浜、東京など） クリニック（しらかば診療所）でのHIV検査の実施 Web「あんしん検査サイト」に戦略研究研修会参加保健所・協力機関を広報するリスト作成とwebの作成 | <ul style="list-style-type: none"> インターネットサイト「HIVマップ」にMSM向け相談窓口の紹介 自治体、拠点病院、NGO、検査機関等にインターネットサイトを紹介し、検査と相談をつなぐことを目指す ドラッグの支援団体、聴覚障害者の支援団体と共同で資材作成 | <ul style="list-style-type: none"> ○主要効果評価のための検査件数、受検者アンケートの東京、横浜地域で継続実施 ・神奈川県HC、土日検査機関で実施 ○副次的効果評価のための調査として、文科系サークル、スポーツ系サークルメンバーを起点にRDS調査を実施 ・Living Togetherキャンペーンに関わった人へのRDS調査 ・商業施設（ゲイバー）利用者調査の実施 |

表2 エイズ予防戦略研究課題1・首都圏地域における2009年の進捗状況

(2010年1月現在)

| | MSM対象の啓発普及・広報 | MSM対象の検査体制の整備 | 相談（陽性者等の支援） | 効果評価のための調査・研究 |
|------------|--|---|--|---|
| 2009年度 | <ul style="list-style-type: none"> ・エイズ発症予防のための「できる！」キャンペーンの展開。PC版および携帯版「HIVマップ」の更新と広報。Webサイト「HIVマップ」と「できる！」キャンペーンの連動。 ・上野・浅草、新橋地域、横浜地域など中高年MSMの利用するゲイタウン商業施設での啓発やタウンミーティングの継続、紙媒体の啓発資材「TOMARIGI」などを配布。 ・東京レズビアン・ゲイフェスティバル、新宿レインボー祭り、スポーツ系、文科系サークル、MSMを対象にしたクラブイベント主催者等との協働キャンペーン（11月-12月末）、東京FMとの協働によるLiving Together: Think about AIDSの放送などで、多様なMSM層への啓発、若年MSM層を含む大学生対象の啓発（八王子市保健所）を実施した。 | <ul style="list-style-type: none"> ・MSM受検者への相談・対応研修会、講習会の実施 （東京都、神奈川、千葉で実施） ・自治体の臨時HIV抗体検査イベントの広報協力、実施要員の派遣（東京、神奈川、千葉など） ・Web「あんしんHIV検査サーチ」にMSMのHIV検査に対応する戦略研究協力機関リストを掲載し広報（紙媒体、Web） ・横浜にてMSM対象の臨時検査（SHIPでの検査）実施。 ・クリニック（しらかば診療所）でのHIV検査の実施。 | <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットサイト「HIVマップ」、PC版、携帯版のコンテンツを充実する、サイト訪問者を増やすためのビジュアルなどを工夫して、広報を継続した。 ・Web版「お役立ちナビ」にMSM向けのHIV関連情報を掲載し、受検や受療支援を整備した。 ・自治体、拠点病院、NGO、検査機関等にインターネットサイトを紹介し、検査と相談の連携を図った。 | <ul style="list-style-type: none"> ○主要効果評価 HIV検査受検者動向、受検者アンケートの継続実施。 東京、神奈川、千葉地域で継続実施 ○副次的効果評価調査 文科系サークル、スポーツ系サークルのメンバーを起点にしたRDS調査、Living Togetherキャンペーンに関わった人へのRDS調査の実施、460件の回答。 ・2008年度実施のゲイバー等の商業施設利用者調査の地域別、年齢別の特徴を分析。 |
| 計画の進行状況と課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・AIDS発症予防のための「できる！」キャンペーンの実施により本研究目標達成への広報を開始した。 ・「できる！」キャンペーンに関連する新たな紙媒体の広報資材を商業施設やクラブキャンペーンで配布。また、インターネット（PC版、携帯版）サイトによる啓発も連動した。 ・中高年層向けの紙媒体による資材が展開された。中高年MSMへの介入、情報提供をさらに進めていく必要がある ・最終年度に向けて、広報戦略の準備はほぼできたと考える。 | <ul style="list-style-type: none"> ・保健所でMSM向け検査機関を確保するにはMSM対応の研修会が有効であったが、今年度のHIV検査担当者へのMSM対応の研修会は、保健所の新型インフルエンザの対応により、計画どおりに進められなかった。 ・保健所等の一部では新型インフルエンザの対応に追われ、検査の受入に支障があった。 ・MSM向け「あんしんHIV検査サーチ」による広報を実施した。保健所等の検査日程を効果的に広報する調整が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏ではNGO等の電話相談があり、これらをHIVマップに紹介する体制ができた。 ・HIVマップ、中でも「お役立ちナビ情報」の利用が見られ、このWebの継続が望まれるが、戦略研究終了後の運営方法等を検討する必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ○主要評価項目調査 調査機関確保は東京、神奈川、千葉ではほぼ達成したが、業務との関連で調査が困難となった機関などと、実施に向けた調整が必要となった。 ○副次的効果評価調査 2008年度に続き、概ね予定通り実施できた。 |

図4 エイズ予防のための戦略研究(研究リーダー：市川誠一) MSM首都圏グループ活動の進捗状況 2009年度

* () 内は日にち

| 実行内容 | | 総数 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | |
|----------------|---|-------|--------------------|-----------------------------|------------------------|-----------------------|--------------------------|--|--|---------------------------------|--|------|------------|------|--|
| テーマ | 「できる!」キャンペーン (エイズ発症予防のための キャンペーン) | | 第1期: コンセプト構築と始動 | | | TFMコラボ(13) | 経験談収集サ イト開始 | 第2期 web展開 | | | 第3期: キャンペーン実 施 | | TFMコラボ(18) | | |
| 検査 | あんしんHIV検査サーチ 配布数 | 11651 | 本アップ | 広報用カード 完成 | 検査イベント ページPC版 | | mobile版開始(7) | あんしんHIV検査 サーチ紙版配布 | 2144 | 2652 | 検査イベント ページPC版, mobile版アップ 450 | 6405 | | | |
| | 保健師研修 参加者数 | | | 神奈川(中止) | 東京(中止) | | AIDS文化 フォーラム 講演(7) | 千葉県研修(11) 東京都研修(18) | 20人(11) 13人(18) | | 台東・北 保健所研修(9) | 12人 | | | |
| | 検査キャンペーン | | | 各保健所の検査 フライヤー作成協 力+配布 | 検査イベント ページPC版 | | 千葉県検査会(8) | | | 検査イベント ページPC版, mobile版アップ | 検査イベント期間 | | | | |
| 啓発 事業 実施 | TOMARI-GI/タウンミーティング 配布店舗数 | 1477 | | | TOMARI-GI3号 | | | TOMARI-GI4号 | TOMARI-GI4号 | | TOMARI-GI5号 | | | | |
| | 配布数 | 4431 | | | 494 | | | 493 | 1479 | | 490 | | | | |
| | クラブキャンペーン(「できる!」) 配布数 | 6105 | | | 製作開始 | | | | | クラブオーガナ イザーミーティ ング(9) | club キャンペー ン 31イベント 6105 | | | | |
| | サークル啓発(「できる!」) | | スポーツ大会 こぐま杯(28) | | スポーツ大会 こぐま杯(28) | 文化系音楽会 Prelude(18) | | スポーツ大会 こぐま杯(20) スポーツ大会 SMASHバ(21) | スポーツ大会 こぐま杯(11) スポーツ大会 SMASHテ(18) | | | | | | |
| | ゲームメディア向け 啓発(「できる!」) | | | | | | | | | クラブオーガナ イザーミーティ ング(9) | ゲイ向けメデ ィア関係者ミー ティング(11) | | | | |
| | REAL-LT | | | | | | | | | 資料PDFの 配信開始(1) | | | | | |
| | HIVマップ/HIVマップmobile アクセス数 | | 5135 | 7877 | 8001 | 7059 | 7851 | 7148 | 6716 | 9284 | 7570 | 7413 | 6365 | 9673 | |
| HIVお役立ちナビ | | | | | | | | | | | | | | | |
| 調査 | RDS法調査 有効回答数 | 471名 | | | 文化系Prelude 携帯調査(18) | 126名 | プログラム参加 者 携帯調査(18) | 219名 | スポーツ大会 携帯調査(20、 21) | スポーツ大会 携帯調査(11、 18) | 126名 | | 結果速報開始 | | |
| | バー・アンケート 有効回答数 | 1463名 | | | | | | | | 分析中 | | | | | |
| | ミニPC調査 有効回答数 | 194名 | | | ミニPC Pride Festival | 194人 | | | | | | | | | |
| | 質的調査 | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | |

29

表3 エイズ予防戦略研究課題1・阪神圏地域における2007-2008年の進捗状況

| | MSM対象の啓発普及・広報 | MSM対象の検査体制の整備 | 相談（陽性者等の支援） | 効果評価のための調査・研究 |
|--------|---|--|--|--|
| 2007年度 | <ul style="list-style-type: none"> 啓発資材の作成とクラブイベント、商業施設での配布 街頭でのスライドショーの実施 インターネットサイト（PC版、携帯版）の開発と公開 大規模のHIV・AIDS予防啓発イベントPlus+実施（10月） | <ul style="list-style-type: none"> 大阪市、大阪府への協力依頼 大阪土曜日常設検査に協力依頼 STDクリニック検査キャンペーンの試行-3クリニックと連携 新規HIV検査機関「Chot Cast なんば」との協力関係の調整 | <ul style="list-style-type: none"> 陽性者サポートライン関西の発足 地域の陽性者への相談にかかわる専門職へのワークショップ、連携作り HPサイトの開設と宣伝 陽性者サポートライン活動の報告会実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○主要効果評価のための検査件数、受検者アンケートの実施協力依頼 ○副次的効果評価のためのRDS調査の実施 ・MSM商業施設利用者数推定のための人口調査の実施 ・中高年の啓発ニーズアセスメントのためのインタビュー調査実施 |
| 2008年度 | <ul style="list-style-type: none"> インターネットサイト（PC版、携帯版）のコンテンツの充実とネットワーク構築（リンク）と広報 各ベニューに合わせた啓発資材の開発・作成とMSM向け商業施設での資材配布による広報（大阪地域のMSMが利用する商業施設のほぼ60%に広報を実施） ゲイ向け商業施設非利用者への啓発映像プログラム（スライドショー）を計3回実施 大規模のHIV・AIDS予防啓発イベントPlus+2008実施（10月）、のべ12000人、（実数6000人、内MSMが67%） | <ul style="list-style-type: none"> STD等のクリニック検査キャンペーンの本格始動-7クリニックと連携、検査キャンペーンを実施 クリニックでの針刺し事故とHIV暴露事故への対策マニュアルの整備 新規のHIV検査機関「Chot Cast なんば」との協力関係調整 | <ul style="list-style-type: none"> 陽性者サポートライン関西のHPサイトの宣伝 地域の相談にかかわる専門職ケースカンファレンスの実施 当事者支援グループミーティング準備 | <ul style="list-style-type: none"> ○主要効果評価のための検査件数、受検者アンケートの継続実施。神戸市、堺市、京都府、京都市の協力参加 ○副次的効果評価 イベントPLuS+2008でのRDS調査350件の回答、兵庫、京都のゲイ向け商業施設等を起点として実施 ・Plus+イベント来場者調査（MSM割合の推定も含む） ・中高年の啓発ニーズアセスメントインタビュー調査の実施 |

表4 エイズ予防戦略研究課題1・阪神圏地域における2009年の進捗状況(2010年1月現在)

| | MSM対象の啓発普及・広報 | MSM対象の検査体制の整備 | 相談(陽性者等の支援) | 効果評価のための調査・研究 |
|------------|---|--|--|--|
| 2009年度 | <ul style="list-style-type: none"> インターネットサイト(PC版、携帯版)のコンテンツの充実とネットワーク構築(リンク)を進め、クリニック検査キャンペーンを広報した。 ゲイ対象の各ベニューに合わせた啓発資料の作成とMSM向け商業施設での資料配布により検査キャンペーン広報を実施した。ナイトプロジェクト(クラブパーティでの資料配付、16イベント、5200人) ハッテン場への啓発資料配付における検査キャンペーン広報(57,900枚) ゲイ向け商業施設非利用者への啓発映像プログラム(スライドショー)を実施 大規模のHIV・AIDS予防啓発イベントPlus+2009実施(10月)、昨年度と同様の延べ11,677人、(実数5,406人、内MSMが67%、3600人) | <ul style="list-style-type: none"> STD等のクリニック7機関と連携した検査キャンペーンを5月から始動した。 検査数は、月ごとに増加し、12月末終了時に272件を数え、月当たりの受検者数は10件から34件に増えた。 MSMが利用する商業施設地域に近い一部のクリニックに受検者が集中している傾向にあるが、他の機関でも受検者が見られている。 大阪で新規に開設されたHIV検査機関「Chot Cast なんば」との協力関係を望んでいるが、同機関の運用上の課題があり、積極的な関わりができていない。 | <ul style="list-style-type: none"> プログラムのHPサイトの広報宣伝(電話相談の名称をサポートライン関西から「POSP電話相談」に、対象をHIV陽性とわかって間もないひとから「HIV陽性とわかったひと」に変更) 地域支援者のネットワーク構築のためのケースカンファレンスの継続実施 HIV陽性者対象のグループミーティングを開始 | <ul style="list-style-type: none"> ○主要効果評価 HIV検査受検者動向、受検者アンケートの継続実施。神戸市、堺市、京都府、京都市の協力参加の継続依頼 ○副次的効果評価 RDS調査はPLuS+2009会場で416件、兵庫、京都のゲイ向け商業施設等を起点とした回答を含め623件を得た。 Plus+イベント来場者調査は、配布数1,513枚、有効回収数1,096件(72.4%)の回答を得た。来場者の67%がゲイ・バイセクシュアル男性・MSMであった。 中高年の啓発ニーズアセスメントインタビュー調査の継続 |
| 計画の進行状況と課題 | <ul style="list-style-type: none"> 2007年度は研究計画に基づくプログラム案策定、戦略研究広報ロゴ作成、啓発対象に合わせた資料開発・普及法を検討し試行し、2008年度はこれらの啓発プログラムの普及拡大を図った。 2009年度は、2008年度まで構築した、Web、紙媒体、大型啓発イベントの広報を活用して、STD等のクリニックでの検査キャンペーンを中心にした広報を実施した。 昨年度に続き、中高年およびネット利用MSM層へのアプローチが課題となっている。 | <ul style="list-style-type: none"> クリニック検査キャンペーンでの受検者増が見られている。またキャンペーン受検者中の陽性割合も高い。 保健所等の一部では新型インフルエンザの対応に追われ、検査の受入に支障があったが、STDクリニックには影響がなかった。 クリニック検査キャンペーンに結びつく効果的な広報と実施方法が検討課題 | <ul style="list-style-type: none"> 確認検査前の相談件数も増加し、このプログラムのニーズが示されている。相談員2人が研修を経て育成された。 新規陽性者対象のグループミーティングを夏から開始。冬に第2期を実施。 相談日を増やすなど電話相談体制の強化が必要。 | <ul style="list-style-type: none"> 大阪府保健所の調査協力が得られた。大阪市の一部保健所は課題2の中止と共に5分間アンケートも中止された。受検者動向調査は継続。 検査キャンペーン協クリニクでは、キャンペーン広報により、MSM受検者数が徐々に増加している。 副次的効果評価のための調査はほぼ計画を達成している。 |

図5 エイズ予防のための戦略研究(研究リーダー：市川誠一) MSM京阪神グループ活動の進捗状況 2009年度

| 実施内容 | | 総数 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | | | |
|---|---------------------------------------|---|---|--------------|--------------|---|--------------|-----------------------------------|---------------------------------|------------------------------|------------------|--------------|--------------|------------------------|--------------|---|--|
| 検査 | クリニック検査 キャンペーン | クリニックでの 受け入れ期間 | クリニックキャンペーン実施(7クリニック) 1、大里クリニック 2、そねざき古林診療所(旧大國診療所) 3、岩佐クリニック 4、高田泌尿器科 5、亀岡クリニック 6、田端皮膚泌尿器科 7、菅野クリニック | | | | | | | | | | | | | | |
| | 参加者数 | 272 | 10 | 22 | 13 | 29 | 31 | 50 | 37 | 80 | | | | | | | |
| 啓発 事業 実施 | ゲイ向け商業施設 へのクリニック検査 キャンペーン広報 | 配布店舗 配布数 | 490 20445 | 185 5445 | | | | | イベント広報を兼ね 305施設・団体に 15000 | | | | | | | | |
| | クラブパーティー会場 における受検行動 促進啓発プログラム | ナイト プロジェクト | 配布数 | 4500 | | パッケージ資材製作期間 (クリニック検査キャンペーン広報を含む) | | | | 16イベントで配布実施 (のべ来場者数5207人) | | | | | | | |
| | 発展場における受 検行動促進啓発プ ログラム | HATTEN+ 情報資材プログラム | 配布数 | 57900 | | パッケージ資材製作期間 (クリニック検査キャンペーン広報を含 む) | | パッケージ資材配布 (クリニック検査キャンペーン広報を含む) | | | オーナーからの ヒアリング | | | | | | |
| | インターネット利用 者に対する介入 プログラム | アクセス数(携帯) アクセス数(PC) PLuS+2009 HP SaferSexInfo. | | 2757 3204 | 3191 3350 | 2523 3211 | 2146 3555 | 2554 4243 | 2711 4172 | 2458 4087 | 2704 3887 | 2769 3199 | 2647 3555 | 1733 2918 | 1806 3105 | | |
| | 一般街灯に等にお ける受検行動促進 啓発 映像プログラム | スライドショー プロジェクト | | | | 製作期間 | | | | 10/11 PLuS+ | | | | | | | |
| | 公共空間における 受検行動促進啓発 イベントプログラム | PLuS+戦略研究 プロジェクト | 来場者数 | 5406 | | 準備期間 | | | | 10/11 PLuS+ | | | | | | | |
| | ミドルエイジ層を対 象とした受検行動促 進啓発プログラム | ミドルエイジプロジェ クト | | | | 継続分析 | | | | | | | | | | | |
| | 新規陽性者 支援プロジェクト | ひよっこクラブ | 参加者数 | 6名 | | 準備期間 | | | | ひよっこクラブ 1回目実施 6名 | | | | ひよっこクラブ 2回目実施 5名 | | | |
| | 電話相談 | HIV陽性とわかった ひとのための 電話相談 | 相談件数 | 29 | 3 | 3 | 1 | 6 | 1 | 2 | 5 | 4 | 4 | 0 | 1 | 4 | |
| | ネットワーク構築 | | 参加者数 | 41名 | | カンファレンス (中止) | | カンファレンス 8/20 | | カンファレンス 11/3 | | | | | | | |
| RDS法を用いた携帯調査 PLuS+、京都、神戸、姫路 | | 回答者数 | 623名 | | | | | 31名 | | | 実施 | | 集計・分析 | | | | |
| 公共空間における 受検行動促進啓発 イベントプログラム 評価 | PLuS+来場者 質問紙調査 | 回答者数 | 503名 | | | | | | 544名 | 70名 | 9名 | 集計・分析 | | | | | |
| | | | | | | | | | 503名 | | | | | | | | |

添付資料 I

**首都圏地域における
MSM (Men who have sex with men)
を対象としたRDS法を用いた
携帯電話調査
-結果報告表-
(2008年7月-11月実施)
(2009年7月-11月実施)**

表1-1 対象者の属性と過去6ヶ月間における施設等の利用状況、プログラム認知(2008年度)

| | | 基点別 | | | | | | 合計 n=361 | カイ2乗 検定 | |
|--|------------------------------|---------------|-------|-----------------|-------|-----------------|-------|-------------|------------|--------|
| | | LT計画 n=236 | | 文化系サークル n=66 | | 体育会サークル n=59 | | | | |
| | | n | % | n | % | n | % | | | |
| 年齢階級 | 24歳以下 | 34 | 14.4 | 11 | 16.7 | 5 | 8.5 | 50 | 13.9 | 0.059 |
| | 25-29歳 | 65 | 27.5 | 5 | 7.6 | 12 | 20.3 | 82 | 22.7 | |
| | 30-34歳 | 56 | 23.7 | 18 | 27.3 | 16 | 27.1 | 90 | 24.9 | |
| | 35-39歳 | 45 | 19.1 | 21 | 31.8 | 18 | 30.5 | 84 | 23.3 | |
| | 40歳以上 | 34 | 14.4 | 11 | 16.7 | 8 | 13.6 | 53 | 14.7 | |
| | 無回答 | 2 | 0.8 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2 | 0.6 | |
| 合計 | | 236 | 100.0 | 66 | 100.0 | 59 | 100.0 | 361 | 100.0 | |
| 居住地域 | 東京都 | 170 | 72.0 | 43 | 65.2 | 38 | 64.4 | 251 | 69.5 | 0.003 |
| | 神奈川県 | 23 | 9.7 | 13 | 19.7 | 17 | 28.8 | 53 | 14.7 | |
| | 埼玉県 | 17 | 7.2 | 6 | 9.1 | 2 | 3.4 | 25 | 6.9 | |
| | 千葉県 | 12 | 5.1 | 4 | 6.1 | 2 | 3.4 | 18 | 5.0 | |
| | その他 | 14 | 5.9 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 14 | 3.9 | |
| 合計 | | 236 | 100.0 | 66 | 100.0 | 59 | 100.0 | 361 | 100.0 | |
| 性的指向 | ゲイ(同性愛者) | 221 | 93.6 | 62 | 93.9 | 55 | 93.2 | 338 | 93.6 | 0.759 |
| | バイセクシュアル(両性愛者) | 12 | 5.1 | 4 | 6.1 | 4 | 6.8 | 20 | 5.5 | |
| | その他、分からない | 3 | 1.3 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 3 | 0.8 | |
| 合計 | | 236 | 100.0 | 66 | 100.0 | 59 | 100.0 | 361 | 100.0 | |
| 過去6ヶ月間の利用エリア | 新宿・大久保 | 195 | 82.6 | 50 | 75.8 | 45 | 76.3 | 290 | 80.3 | 0.320 |
| | 上野・浅草 | 61 | 25.8 | 19 | 28.8 | 18 | 30.5 | 98 | 27.1 | 0.730 |
| | 新橋 | 41 | 17.4 | 11 | 16.7 | 14 | 23.7 | 66 | 18.3 | 0.492 |
| | 渋谷・代々木 | 30 | 12.7 | 7 | 10.6 | 3 | 5.1 | 40 | 11.1 | 0.246 |
| | 池袋 | 10 | 4.2 | 9 | 13.6 | 2 | 3.4 | 21 | 5.8 | 0.011 |
| | 中野・阿佐ヶ谷・八王子 | 17 | 7.2 | 2 | 3.0 | 3 | 5.1 | 22 | 6.1 | 0.428 |
| | 横浜 | 16 | 6.8 | 7 | 10.6 | 7 | 11.9 | 30 | 8.3 | 0.340 |
| | 埼玉・千葉 | 8 | 3.4 | 1 | 1.5 | 0 | 0.0 | 9 | 2.5 | 0.280 |
| | その他 | 21 | 8.9 | 9 | 13.6 | 3 | 5.1 | 33 | 9.1 | 0.248 |
| | いずれも行っていない | 23 | 9.7 | 6 | 9.1 | 3 | 5.1 | 32 | 8.9 | 0.529 |
| 過去6ヶ月間の利用施設等 | ゲイバー | 197 | 83.5 | 57 | 86.4 | 54 | 91.5 | 308 | 85.3 | 0.285 |
| | ゲイナイト(クラブ) | 136 | 57.6 | 15 | 22.7 | 11 | 18.6 | 162 | 44.9 | <0.001 |
| | ハッテン場(有料・野外) | 105 | 44.5 | 34 | 51.5 | 30 | 50.8 | 169 | 46.8 | 0.476 |
| | ネット(掲示板・SNS) | 192 | 81.4 | 51 | 77.3 | 39 | 66.1 | 282 | 78.1 | 0.040 |
| | ゲイサークル | 38 | 16.1 | 40 | 60.6 | 20 | 33.9 | 98 | 27.1 | <0.001 |
| | ゲイの合コン | 14 | 5.9 | 3 | 4.5 | 3 | 5.1 | 20 | 5.5 | 0.897 |
| | ゲイの乱バ | 6 | 2.5 | 4 | 6.1 | 2 | 3.4 | 12 | 3.3 | 0.370 |
| | いずれも利用なし | 7 | 3.0 | 0 | 0.0 | 1 | 1.7 | 8 | 2.2 | 0.336 |
| 新宿2丁目のコミュニティセンターakta(アクタ)を知っていますか? | 行ったことがある | 169 | 71.6 | 21 | 31.8 | 9 | 15.3 | 199 | 55.1 | <0.001 |
| | 聞いたことがある | 41 | 17.4 | 23 | 34.8 | 20 | 33.9 | 84 | 23.3 | |
| | 初めて聞いた | 25 | 10.6 | 21 | 31.8 | 30 | 50.8 | 76 | 21.1 | |
| | 無回答 | 1 | 0.4 | 1 | 1.5 | 0 | 0.0 | 2 | 0.6 | |
| 合計 | | 236 | 100.0 | 66 | 100.0 | 59 | 100.0 | 361 | 100.0 | |
| 過去6ヶ月間に以下の表紙の冊子を見たり読んだりしたことがありますか?(REAL冊子) | 見た | 81 | 34.3 | 19 | 28.8 | 11 | 18.6 | 111 | 30.7 | <0.001 |
| | 読んだ | 90 | 38.1 | 14 | 21.2 | 8 | 13.6 | 112 | 31.0 | |
| | 見たことがない | 65 | 27.5 | 33 | 50.0 | 40 | 67.8 | 138 | 38.2 | |
| 合計 | | 236 | 100.0 | 66 | 100.0 | 59 | 100.0 | 361 | 100.0 | |
| プログラム認知 | HIVマップ(ウェブサイト) | 105 | 44.5 | 13 | 19.7 | 16 | 27.1 | 134 | 37.1 | <0.001 |
| | Living Together計画(ウェブサイト) | 141 | 59.7 | 20 | 30.3 | 11 | 18.6 | 172 | 47.6 | <0.001 |
| | Living Together Lounge(イベント) | 158 | 66.9 | 18 | 27.3 | 5 | 8.5 | 181 | 50.1 | <0.001 |
| | Living Together のど自慢(イベント) | 119 | 50.4 | 8 | 12.1 | 3 | 5.1 | 130 | 36.0 | <0.001 |
| | デリヘルボーイズ | 176 | 74.6 | 35 | 53.0 | 19 | 32.2 | 230 | 63.7 | <0.001 |
| | monthly akta(aktaのフリーペーパー) | 144 | 61.0 | 20 | 30.3 | 10 | 16.9 | 174 | 48.2 | <0.001 |
| | HAVE A NICE SEX(冊子) | 68 | 28.8 | 4 | 6.1 | 3 | 5.1 | 75 | 20.8 | <0.001 |
| | EASY!(冊子) | 146 | 61.9 | 19 | 28.8 | 10 | 16.9 | 175 | 48.5 | <0.001 |
| | REALロゴ(画像) | 99 | 41.9 | 15 | 22.7 | 13 | 22.0 | 127 | 35.2 | 0.001 |

表1-2 対象者の属性と過去6ヶ月間における施設等の利用状況、プログラム認知(2009年度)

| | | 基点別 | | | | | | 合計 n=463 | カイ2乗 検定 | | |
|--|------------------------------|---------------|-------|------------------|-------|------------------|-------|-------------|------------|--------|-------|
| | | LT計画 n=211 | | 文化系サークル n=126 | | 体育会サークル n=126 | | | | | |
| | | n | % | n | % | n | % | | | | |
| 年齢階級 | 24歳以下 | 23 | 10.9 | 21 | 16.7 | 18 | 14.3 | 62 | 13.4 | 0.008 | |
| | 25-29歳 | 59 | 28.0 | 21 | 16.7 | 16 | 12.7 | 96 | 20.7 | | |
| | 30-34歳 | 49 | 23.2 | 32 | 25.4 | 26 | 20.6 | 107 | 23.1 | | |
| | 35-39歳 | 48 | 22.7 | 24 | 19.0 | 37 | 29.4 | 109 | 23.5 | | |
| | 40歳以上 | 28 | 13.3 | 28 | 22.2 | 28 | 22.2 | 84 | 18.1 | | |
| | 無回答 | 4 | 1.9 | | | 1 | 0.8 | 5 | 1.1 | | |
| 合計 | | 211 | 100.0 | 126 | 100.0 | 126 | 100.0 | 463 | 100.0 | | |
| 居住地域 | 東京都 | 162 | 76.8 | 67 | 53.2 | 78 | 61.9 | 307 | 66.3 | <0.001 | |
| | 神奈川県 | 27 | 12.8 | 31 | 24.6 | 25 | 19.8 | 83 | 17.9 | | |
| | 埼玉県 | | | 16 | 12.7 | 14 | 11.1 | 30 | 6.5 | | |
| | 千葉県 | 16 | 7.6 | 10 | 7.9 | 3 | 2.4 | 29 | 6.3 | | |
| | その他 | 6 | 2.8 | 2 | 1.6 | 6 | 4.8 | 14 | 3.0 | | |
| 合計 | | 211 | 100.0 | 126 | 100.0 | 126 | 100.0 | 463 | 100.0 | | |
| 性的指向 | ゲイ(同性愛者) | 197 | 93.4 | 117 | 92.9 | 115 | 91.3 | 429 | 92.7 | 0.771 | |
| | バイセクシュアル(両性愛者) | 14 | 6.6 | 9 | 7.1 | 11 | 8.7 | 34 | 7.3 | | |
| 合計 | | 211 | 100.0 | 126 | 100.0 | 126 | 100.0 | 463 | 100.0 | | |
| 過去6ヶ月間の利用エリア | | | | | | | | | | | |
| | 新宿・大久保 | 181 | 85.8 | 108 | 85.7 | 75 | 59.5 | 364 | 78.6 | 0.264 | |
| | 上野・浅草 | 45 | 21.3 | 24 | 19.0 | 27 | 21.4 | 96 | 20.7 | | |
| | 新橋 | 35 | 16.6 | 31 | 24.6 | 29 | 23.0 | 95 | 20.5 | | |
| | 渋谷・代々木 | 31 | 14.7 | 10 | 7.9 | 10 | 7.9 | 51 | 11.0 | | |
| | 池袋 | 10 | 4.7 | 9 | 7.1 | 7 | 5.6 | 26 | 5.6 | | |
| | 中野・阿佐ヶ谷・八王子 | 21 | 10.0 | 7 | 5.6 | 9 | 7.1 | 37 | 8.0 | | |
| | 横浜 | 21 | 10.0 | 12 | 9.5 | 9 | 7.1 | 42 | 9.1 | | |
| | 埼玉・千葉 | 2 | 0.9 | 5 | 4.0 | 4 | 3.2 | 11 | 2.4 | | |
| | その他 | 35 | 16.6 | 23 | 18.3 | 13 | 10.3 | 71 | 15.3 | | |
| | いずれも行っていない | 16 | 7.6 | 11 | 8.7 | 29 | 23.0 | 56 | 12.1 | | |
| 過去6ヶ月間の利用施設等 | | | | | | | | | | | |
| | ゲイバー | 179 | 84.8 | 106 | 84.1 | 87 | 69.0 | 372 | 80.3 | | 0.003 |
| | ゲイナイト(クラブ) | 125 | 59.2 | 31 | 24.6 | 25 | 19.8 | 181 | 39.1 | | |
| | ハッテン場(有料・野外) | 105 | 49.8 | 61 | 48.4 | 55 | 43.7 | 221 | 47.7 | | |
| | ゲイショップ | 89 | 42.2 | 58 | 46.0 | 34 | 27.0 | 181 | 39.1 | | |
| | ネット(掲示板・SNS) | 159 | 75.4 | 103 | 81.7 | 82 | 65.1 | 344 | 74.3 | | |
| | ゲイサークル | 38 | 18.0 | 58 | 46.0 | 41 | 32.5 | 137 | 29.6 | | |
| | ゲイの合コン | 14 | 6.6 | 7 | 5.6 | 7 | 5.6 | 28 | 6.0 | | |
| | ゲイの乱バ | 14 | 6.6 | 13 | 10.3 | 3 | 2.4 | 30 | 6.5 | | |
| | いずれも利用なし | 3 | 1.4 | 2 | 1.6 | 5 | 4.0 | 10 | 2.2 | | |
| 新宿2丁目のコミュニティセンターakta(アクタ)を知っていますか? | | | | | | | | | | | |
| | 行ったことがある | 151 | 71.6 | 38 | 30.2 | 15 | 11.9 | 204 | 44.1 | <0.001 | |
| | 聞いたことがある | 32 | 15.2 | 51 | 40.5 | 48 | 38.1 | 131 | 28.3 | | |
| | 初めて聞いた | 28 | 13.3 | 37 | 29.4 | 63 | 50.0 | 128 | 27.6 | | |
| 合計 | | 211 | 100.0 | 126 | 100.0 | 126 | 100.0 | 463 | 100.0 | | |
| 過去6ヶ月間に以下の表紙の冊子を見たり読んだりしたことがありますか?(REAL冊子) | | | | | | | | | | | |
| | 見た | 85 | 40.3 | 42 | 33.3 | 34 | 27.0 | 161 | 34.8 | <0.001 | |
| | 読んだ | 81 | 38.4 | 44 | 34.9 | 21 | 16.7 | 146 | 31.5 | | |
| | 見たことがない | 45 | 21.3 | 40 | 31.7 | 71 | 56.3 | 156 | 33.7 | | |
| 合計 | | 211 | 100.0 | 126 | 100.0 | 126 | 100.0 | 463 | 100.0 | | |
| プログラム認知 | | | | | | | | | | | |
| | HIVマップ(ウェブサイト) | 120 | 56.9 | 57 | 45.2 | 48 | 38.1 | 225 | 48.6 | 0.013 | |
| | あんしんHIV検査サーチ(ウェブサイト) | 71 | 33.6 | 22 | 17.5 | 34 | 27.0 | 127 | 27.4 | | |
| | Living Together計画(ウェブサイト) | 128 | 60.7 | 44 | 34.9 | 22 | 17.5 | 194 | 41.9 | | |
| | Living Together Lounge(イベント) | 136 | 64.5 | 49 | 38.9 | 15 | 11.9 | 200 | 43.2 | | |
| | Living Together のど自慢(イベント) | 109 | 51.7 | 24 | 19.0 | 5 | 4.0 | 138 | 29.8 | | |
| | デリヘルボーイズ | 152 | 72.0 | 64 | 50.8 | 37 | 29.4 | 253 | 54.6 | | |
| | monthly akta(aktaのフリーペーパー) | 125 | 59.2 | 34 | 27.0 | 19 | 15.1 | 178 | 38.4 | | |
| | HAVE A NICE SEX(冊子) | 78 | 37.0 | 16 | 12.7 | 8 | 6.3 | 102 | 22.0 | | |
| | EASY!(冊子) | 116 | 55.0 | 31 | 24.6 | 16 | 12.7 | 163 | 35.2 | | |
| | かながわレインボーセンター-SHIP | 64 | 30.3 | 28 | 22.2 | 12 | 9.5 | 104 | 22.5 | | |
| | REALロゴ(画像) | 142 | 67.3 | 62 | 49.2 | 44 | 34.9 | 248 | 53.6 | | |

表2-1 HIV抗体検査受検経験(生涯、過去1年)と最近の検査場所、検査利用について(2008年度)

| | 基点別 | | | | | | | | カイ2乗 検定 | |
|--------------------------------------|------------|--------------|-----------|--------------|-----------|--------------|------------|--------------|------------|--|
| | LT計画 | | 文化系サークル | | 体育会サークル | | 合計 | | | |
| | n | % | n | % | n | % | n | % | | |
| これまでHIV検査を受けたことがありますか？ | | | | | | | | | | |
| ある | 178 | 75.4 | 52 | 78.8 | 32 | 54.2 | 262 | 72.6 | 0.002 | |
| ない | 58 | 24.6 | 14 | 21.2 | 27 | 45.8 | 99 | 27.4 | | |
| 合計 | 236 | 100.0 | 66 | 100.0 | 59 | 100.0 | 361 | 100.0 | | |
| 過去1年間にHIV検査を受けたことがありますか？ | | | | | | | | | | |
| 受けた | 79 | 33.5 | 19 | 28.8 | 20 | 33.9 | 118 | 32.7 | 0.021 | |
| 過去1年間には受けていない | 83 | 35.2 | 29 | 43.9 | 11 | 18.6 | 123 | 34.1 | | |
| 1年以上前に陽性を確認している | 14 | 5.9 | 4 | 6.1 | 1 | 1.7 | 19 | 5.3 | | |
| 答えたくない | 2 | 0.8 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 2 | 0.6 | | |
| 非該当 | 58 | 24.6 | 14 | 21.2 | 27 | 45.8 | 99 | 27.4 | | |
| 合計 | 236 | 100.0 | 66 | 100.0 | 59 | 100.0 | 361 | 100.0 | | |
| 一番最近の検査はどこで受けましたか？ | | | | | | | | | | |
| 首都圏(東京、神奈川、埼玉、千葉)の保健所 | 61 | 25.8 | 10 | 15.2 | 18 | 30.5 | 89 | 24.7 | 0.004 | |
| 南新宿検査・相談室 | 58 | 24.6 | 22 | 33.3 | 4 | 6.8 | 84 | 23.3 | | |
| 首都圏のクリニック/診療所 | 16 | 6.8 | 3 | 4.5 | 1 | 1.7 | 20 | 5.5 | | |
| 首都圏の病院 | 17 | 7.2 | 9 | 13.6 | 5 | 8.5 | 31 | 8.6 | | |
| 自宅/郵送検査 | 2 | 0.8 | 0 | 0.0 | 1 | 1.7 | 3 | 0.8 | | |
| その他 | 23 | 9.7 | 7 | 10.6 | 2 | 3.4 | 32 | 8.9 | | |
| 無回答 | 1 | 0.4 | 1 | 1.5 | 1 | 1.7 | 3 | 0.8 | | |
| 非該当 | 58 | 24.6 | 14 | 21.2 | 27 | 45.8 | 99 | 27.4 | | |
| 合計 | 236 | 100.0 | 66 | 100.0 | 59 | 100.0 | 361 | 100.0 | | |
| あなたにとって、HIV検査は利用しやすいですか/利用しやすかったですか？ | | | | | | | | | | |
| そう思う | 45 | 19.1 | 17 | 25.8 | 5 | 8.5 | 67 | 18.6 | 0.091 | |
| まあそう思う | 79 | 33.5 | 17 | 25.8 | 20 | 33.9 | 116 | 32.1 | | |
| あまりそう思わない | 67 | 28.4 | 22 | 33.3 | 18 | 30.5 | 107 | 29.6 | | |
| 思わない | 17 | 7.2 | 5 | 7.6 | 3 | 5.1 | 25 | 6.9 | | |
| わからない | 28 | 11.9 | 5 | 7.6 | 12 | 20.3 | 45 | 12.5 | | |
| 無回答 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 1.7 | 1 | 0.3 | | |
| 合計 | 236 | 100.0 | 66 | 100.0 | 59 | 100.0 | 361 | 100.0 | | |

表2-2 HIV抗体検査受検経験(生涯、過去1年)と最近の検査場所、検査利用について(2009年度)

| | 基点別 | | | | | | | | カイ2乗 検定 |
|--------------------------------------|---------------|--------------|------------------|--------------|------------------|--------------|-------------|--------------|------------|
| | LT計画 n=211 | | 文化系サークル n=126 | | 体育会サークル n=126 | | 合計 n=463 | | |
| | n | % | n | % | n | % | n | % | |
| これまでHIV検査を受けたことがありますか？ | | | | | | | | | |
| ある | 165 | 78.2 | 87 | 69.0 | 84 | 66.7 | 336 | 72.6 | 0.042 |
| ない | 46 | 21.8 | 39 | 31.0 | 42 | 33.3 | 127 | 27.4 | |
| 合計 | 211 | 100.0 | 126 | 100.0 | 126 | 100.0 | 463 | 100.0 | |
| 過去1年間にHIV検査を受けたことがありますか？ | | | | | | | | | |
| 受けた | 71 | 33.6 | 38 | 30.2 | 34 | 27.0 | 143 | 30.9 | 0.003 |
| 過去1年間には受けていない | 67 | 31.8 | 29 | 23.0 | 47 | 37.3 | 143 | 30.9 | |
| 1年以上前に陽性を確認している | 23 | 10.9 | 20 | 15.9 | 3 | 2.4 | 46 | 9.9 | |
| 答えたくない | 3 | 1.4 | | | | | 3 | 0.6 | |
| 非該当 | 46 | 21.8 | 39 | 31.0 | 42 | 33.3 | 127 | 27.4 | |
| 無回答 | 1 | 0.5 | | | | | 1 | 0.2 | |
| 合計 | 211 | 100.0 | 126 | 100.0 | 126 | 100.0 | 463 | 100.0 | |
| 一番最近の検査はどこで受けましたか？ | | | | | | | | | |
| 首都圏(東京、神奈川、埼玉、千葉)の保健所 | 56 | 26.5 | 27 | 21.4 | 29 | 23.0 | 112 | 24.2 | 0.440 |
| 南新宿検査・相談室 | 34 | 16.1 | 22 | 17.5 | 23 | 18.3 | 79 | 17.1 | |
| 首都圏のクリニック/診療所 | 21 | 10.0 | 10 | 7.9 | 7 | 5.6 | 38 | 8.2 | |
| 首都圏の病院 | 26 | 12.3 | 11 | 8.7 | 11 | 8.7 | 48 | 10.4 | |
| 自宅/郵送検査 | | | 2 | 1.6 | 2 | 1.6 | 4 | 0.9 | |
| その他 | 27 | 12.8 | 14 | 11.1 | 12 | 9.5 | 53 | 11.4 | |
| 非該当 | 46 | 21.8 | 39 | 31.0 | 42 | 33.3 | 127 | 27.4 | |
| 無回答 | 1 | 0.5 | 1 | 0.8 | | | 2 | 0.4 | |
| 合計 | 211 | 100.0 | 126 | 100.0 | 126 | 100.0 | 463 | 100.0 | |
| あなたにとって、HIV検査は利用しやすいですか/利用しやすかったですか？ | | | | | | | | | |
| そう思う | 45 | 21.3 | 31 | 24.6 | 26 | 20.6 | 102 | 22.0 | 0.870 |
| まあそう思う | 72 | 34.1 | 37 | 29.4 | 45 | 35.7 | 154 | 33.3 | |
| あまりそう思わない | 62 | 29.4 | 33 | 26.2 | 29 | 23.0 | 124 | 26.8 | |
| 思わない | 11 | 5.2 | 8 | 6.3 | 10 | 7.9 | 29 | 6.3 | |
| わからない | 20 | 9.5 | 15 | 11.9 | 15 | 11.9 | 50 | 10.8 | |
| 無回答 | 1 | 0.5 | 2 | 1.6 | 1 | 0.8 | 4 | 0.9 | |
| 合計 | 211 | 100.0 | 126 | 100.0 | 126 | 100.0 | 463 | 100.0 | |

表3-1 性行動と予防行動に関する項目(2008年度)

| | 基点別 | | | | | | 合計 n=361 | カイ2乗 検定 | |
|---|---------------|-------|-----------------|-------|-----------------|-------|-------------|------------|-------|
| | LT計画 n=236 | | 文化系サークル n=66 | | 体育会サークル n=59 | | | | |
| | n | % | n | % | n | % | n | | % |
| これまでの、男性とセックスしたことがありますか？ | | | | | | | | | |
| ある | 233 | 98.7 | 65 | 98.5 | 59 | 100.0 | 357 | 98.9 | 0.664 |
| ない | 3 | 1.3 | 1 | 1.5 | 0 | 0.0 | 4 | 1.1 | |
| 合計 | 236 | 100.0 | 66 | 100.0 | 59 | 100.0 | 361 | 100.0 | |
| 過去6ヶ月間に男性とアナルセックスをしましたか？ | | | | | | | | | |
| した | 158 | 66.9 | 42 | 63.6 | 37 | 62.7 | 237 | 65.7 | 0.830 |
| していない | 75 | 31.8 | 23 | 34.8 | 22 | 37.3 | 120 | 33.2 | |
| 無回答 | 3 | 1.3 | 1 | 1.5 | 0 | 0.0 | 4 | 1.1 | |
| 合計 | 236 | 100.0 | 66 | 100.0 | 59 | 100.0 | 361 | 100.0 | |
| 特定相手とのコンドーム使用状況 | | | | | | | | | |
| 非常用 | 75 | 50.0 | 25 | 67.6 | 22 | 66.7 | 122 | 55.5 | 0.058 |
| 常用 | 75 | 50.0 | 12 | 32.4 | 11 | 33.3 | 98 | 44.5 | |
| 合計 | 150 | 100.0 | 37 | 100.0 | 33 | 100.0 | 220 | 100.0 | |
| 不特定相手とのコンドーム使用状況 | | | | | | | | | |
| 非常用 | 23 | 24.2 | 13 | 41.9 | 16 | 59.3 | 52 | 34.0 | 0.002 |
| 常用 | 72 | 75.8 | 18 | 58.1 | 11 | 40.7 | 101 | 66.0 | |
| 合計 | 95 | 100.0 | 31 | 100.0 | 27 | 100.0 | 153 | 100.0 | |
| あなたの友だちや知り合いに、HIVに感染している人はいると思いますか？ | | | | | | | | | |
| いる | 155 | 65.7 | 27 | 40.9 | 26 | 44.1 | 208 | 57.6 | 0.008 |
| いると思う | 43 | 18.2 | 18 | 27.3 | 15 | 25.4 | 76 | 21.1 | |
| いないと思う | 12 | 5.1 | 7 | 10.6 | 9 | 15.3 | 28 | 7.8 | |
| いない | 1 | 0.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.3 | |
| わからない | 24 | 10.2 | 14 | 21.2 | 9 | 15.3 | 47 | 13.0 | |
| 無回答 | 1 | 0.4 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 1 | 0.3 | |
| 合計 | 236 | 100.0 | 66 | 100.0 | 59 | 100.0 | 361 | 100.0 | |
| 過去6ヶ月間で友達や知り合いと、エイズやHIVについて話したことはありますか？ | | | | | | | | | |
| ある | 194 | 82.2 | 41 | 62.1 | 39 | 66.1 | 274 | 75.9 | 0.001 |
| ない | 42 | 17.8 | 25 | 37.9 | 20 | 33.9 | 87 | 24.1 | |
| 合計 | 236 | 100.0 | 66 | 100.0 | 59 | 100.0 | 361 | 100.0 | |
| 『新しい薬で、HIVに感染しても、より長く生きることが可能になった』は正しいと思いますか？ | | | | | | | | | |
| 正しい | 174 | 73.7 | 43 | 65.2 | 34 | 57.6 | 251 | 69.5 | 0.035 |
| 誤り | 9 | 3.8 | 7 | 10.6 | 7 | 11.9 | 23 | 6.4 | |
| わからない | 53 | 22.5 | 16 | 24.2 | 18 | 30.5 | 87 | 24.1 | |
| 合計 | 236 | 100.0 | 66 | 100.0 | 59 | 100.0 | 361 | 100.0 | |

表3-2 性行動と予防行動に関する項目(2009年度)

| | 基点別 | | | | | | | | カイ2乗 検定 |
|---|---------------|-------|------------------|-------|------------------|-------|-------------|-------|------------|
| | LT計画 n=211 | | 文化系サークル n=126 | | 体育会サークル n=126 | | 合計 n=463 | | |
| | n | % | n | % | n | % | n | % | |
| これまでに、男性とセックスしたことがありますか？ | | | | | | | | | |
| ある | 203 | 96.2 | 123 | 97.6 | 123 | 97.6 | 449 | 97.0 | 0.677 |
| ない | 8 | 3.8 | 3 | 2.4 | 3 | 2.4 | 14 | 3.0 | |
| 合計 | 211 | 100.0 | 126 | 100.0 | 126 | 100.0 | 463 | 100.0 | |
| 過去6ヶ月間に男性とアナルセックスをしましたか？ | | | | | | | | | |
| した | 140 | 66.4 | 76 | 60.3 | 83 | 65.9 | 299 | 64.6 | 0.624 |
| していない | 63 | 29.9 | 47 | 37.3 | 40 | 31.7 | 150 | 32.4 | |
| 非該当 | 8 | 3.8 | 3 | 2.4 | 3 | 2.4 | 14 | 3.0 | |
| 合計 | 211 | 100.0 | 126 | 100.0 | 126 | 100.0 | 463 | 100.0 | |
| 特定相手とのコンドーム使用状況 | | | | | | | | | |
| 非常用 | 78 | 58.6 | 41 | 56.2 | 47 | 57.3 | 166 | 57.6 | 0.940 |
| 常用 | 55 | 41.4 | 32 | 43.8 | 35 | 42.7 | 122 | 42.4 | |
| 合計 | 133 | 100.0 | 73 | 100.0 | 82 | 100.0 | 288 | 100.0 | |
| 不特定相手とのコンドーム使用状況 | | | | | | | | | |
| 非常用 | 36 | 40.4 | 25 | 50.0 | 22 | 45.8 | 83 | 44.4 | 0.539 |
| 常用 | 53 | 59.6 | 25 | 50.0 | 26 | 54.2 | 104 | 55.6 | |
| 合計 | 89 | 100.0 | 50 | 100.0 | 48 | 100.0 | 187 | 100.0 | |
| あなたの友だちや知り合いに、HIVに感染している人はいると思いますか？ | | | | | | | | | |
| いる | 151 | 71.6 | 57 | 45.2 | 57 | 45.2 | 265 | 57.2 | <0.001 |
| いると思う | 30 | 14.2 | 24 | 19.0 | 31 | 24.6 | 85 | 18.4 | |
| いないと思う | 9 | 4.3 | 14 | 11.1 | 19 | 15.1 | 42 | 9.1 | |
| いない | 1 | 0.5 | 6 | 4.8 | 3 | 2.4 | 10 | 2.2 | |
| わからない | 19 | 9.0 | 25 | 19.8 | 16 | 12.7 | 60 | 13.0 | |
| 無回答 | 1 | 0.5 | | | | | 1 | 0.2 | |
| 合計 | 211 | 100.0 | 126 | 100.0 | 126 | 100.0 | 463 | 100.0 | |
| 過去6ヶ月間で友達や知り合いと、エイズやHIVについて話したことはありますか？ | | | | | | | | | |
| ある | 181 | 85.8 | 79 | 62.7 | 84 | 66.7 | 344 | 74.3 | <0.001 |
| ない | 30 | 14.2 | 47 | 37.3 | 42 | 33.3 | 119 | 25.7 | |
| 合計 | 211 | 100.0 | 126 | 100.0 | 126 | 100.0 | 463 | 100.0 | |
| 『新しい薬で、HIVに感染しても、より長く生きることが可能になった』は正しいと思いますか？ | | | | | | | | | |
| 正しい | 155 | 73.5 | 86 | 68.3 | 81 | 64.3 | 322 | 69.5 | 0.499 |
| 誤り | 11 | 5.2 | 10 | 7.9 | 7 | 5.6 | 28 | 6.0 | |
| わからない | 44 | 20.9 | 30 | 23.8 | 37 | 29.4 | 111 | 24.0 | |
| 無回答 | 1 | 0.5 | | | 1 | 0.8 | 2 | 0.4 | |
| 合計 | 211 | 100.0 | 126 | 100.0 | 126 | 100.0 | 463 | 100.0 | |